

# Panasonic®

## 取扱説明書 CD ステレオシステム 品番 SC-PMX90



### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3 ~ 5 ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



TQBM0361-3

安全上の注意

準備する

Bluetooth®

CD/USB

ラジオ

使いこなす

必要なとき

# 目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(⇒3～5ページ)

## 準備する

付属品	6
リモコンの準備	6
CD の取り扱い	7
本機のお手入れ	7
廃棄 / 譲渡するとき	7
本機の設置と接続	8
各部の名前と働き	10

## Bluetooth®

Bluetooth® を楽しむ	11
手動で登録・接続する	11
機器を再生する	12

## CD/USB

CD や USB の音声を聴く	13
音源の準備をする	13
音源を再生する	13

## ラジオ

ラジオを聴く	16
放送局を記憶させて聴く	16
周波数を手動で合わせて聴く	16

## 使いこなす

外部機器の音声を本機で聴く	18
音声入力端子に接続して聴く	18
光デジタル音声入力 (OPT IN) 端子に接続して聴く	18
AUX 入力 (AUX IN) 端子に接続して聴く	19
パソコンに接続して聴く (PC 入力)	20
音質・音場効果を楽しむ	21
タイマーを使う	22
時計を合わせる	22
おやすみタイマー	22
おめざめタイマー	22
便利な機能	23

## 必要なとき

対応メディアについて	25
こんな表示が出たら	26
故障かな！？	28
無線機能使用上のお願い	31
仕様	32
著作権など	33
保証とアフターサービス	
(よくお読みください)	34
さくいん	35

### 本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(⇒〇〇)で示しています。
- 本書では、本体およびリモコンの表示を[〇〇]で示しています。
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

### 本機のサポート情報について

ソフトウェアの更新など、最新のサポート情報は、下記サポートサイトをご確認ください。  
<https://panasonic.jp/support/audio/>

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や  
損害の程度を区分して、説明しています。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明  
しています。（次は図記号の例です）

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

## !**警告**

### 異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常があったときには、

電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常ににおいや音がする
  - 音声が出ないことがある
  - 内部に水や異物が入った
  - 電源プラグが異常に熱い
  - 本体に変形や破損した部分がある
- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 電源プラグがすぐ抜けるよう、本機は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置してください。
  - 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

### コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### 電池は誤った使いかたをしない



- 指定以外の電池を使わない
  - 乾電池は充電しない
  - 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
  - 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など高温の場所で充電・使用・放置しない
  - $\oplus$  と  $\ominus$  を針金などで接続しない
  - 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
  - $\oplus$  と  $\ominus$  を逆に入れない
  - 被覆のはがれた電池は使わない
- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

### 電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）



- 傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

### 分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

# 安全上のご注意（必ずお守りください）（続き）

## 警告

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない



接触禁止

感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところで使用しないでください。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以内で本機を使用しない



本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない



本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまるごとに、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。  
● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。  
● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

# ⚠ 注意

## コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

## 異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

## 不安定な場所に置かない



高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落すと、けがの原因になることがあります。

## 放熱を妨げない



- 本機は、本棚やラックの中など狭い空間に設置しない
- 放熱孔を塞ぐような場所で使用しない
- 放熱孔を新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない
- 本機の近くに火のついたろうそくのような裸火を置かない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 天面、側面、背面の通気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

## 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落すと、けがの原因になることがあります。

- また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

## 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

## 屋外アンテナの設置、工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

## スピーカーは付属のものを接続する



付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

## ヘッドホン接続前に、音量を下げる



音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になります。

- 音量は少しづつ上げてご使用ください。

## 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

## 長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く



通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因に

なることがあります。

**を抜く**

- ディスク、USB デバイスは、保護のために取り外しておいてください。

## CD トレイに指をはさまれないように注意する



けがの原因になります。

- 特にお子様にはご注意ください。

**指はさみ注意**

# 付属品

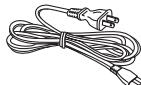
付属品をご確認ください。



- FM 簡易型アンテナ (1 本)  
品番 : RSAX0002



- AM ループアンテナ (1 個)  
品番 : N1DYYYY00011



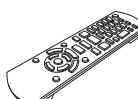
- 電源コード (1 本)  
品番 : K2CA2YY00249



- スピーカーコード (2 本)  
品番 : REE1713



- リモコン用乾電池  
(単3形、1個)



- リモコン (1 個)  
品番 : N2QAYB001100

- 付属品の品番は、2019年2月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。

詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト  
<https://ec-plus.panasonic.jp/>

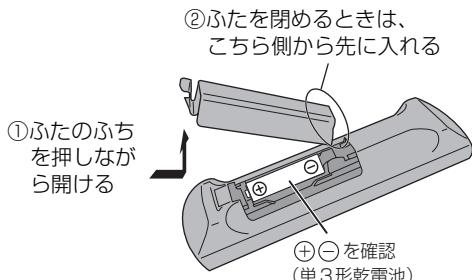


本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。

- ～ AC (交流)
- DC (直流)
- 回 クラス II 機器（二重絶縁構造）
- 入 (ON)
- △ 切 (スタンバイ)

## リモコンの準備

### ■ 乾電池の入れかた



電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

### ■ 使用上のお願い

受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

### ■ 本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

### ■ 電池の廃棄について

不要になった電池を捨てるときは、地域条例に従って処理してください。

ショートによる液もれ・発熱・破裂の原因になりますので、端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

### お知らせ

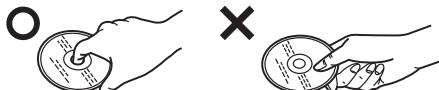
- リモコンの電池を交換すると、リモコンモードが1になることがあります。(⇒ 23)

# CD の取り扱い

## ■ 取り扱い上のお願い

- CD そのものの破損や、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
  - 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
  - ディスククリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
  - 紙やシール、ラベルを貼らない
  - 傷つき防止用のプロテクターなどを使わない
  - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

## 持ちかた



再生面（光っている面）には触れない

## 汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



再生面 内側から外側へ  
(光っている面)

## つゆがついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、つゆがついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

# 本機のお手入れ

## センターユニット：

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布で軽くふいてください。

## スピーカー：

- 乾いたきめの細かい布（眼鏡ふきなど）でふいてください。

## 共通：

- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

# 廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。（⇒ 28、「本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには」）

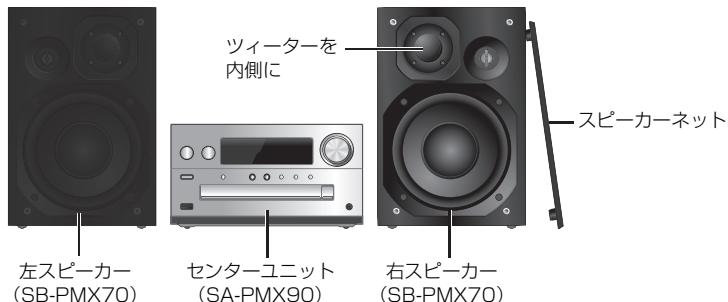
- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

# 本機の設置と接続

## ■ 本機の設置

左右のスピーカーは、ツィーターが内側になるように、スピーカーネットを外して確認してから設置してください。

CD ステレオシステム (SC-PMX90)



- センターユニットとスピーカーは 1 cm 以上離してください。
- 本機を移動させるときは、CD を取り出し、USB デバイスは取り外してから電源を切って移動してください。
- 付属のスピーカー以外はご使用になれません。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。

## ■ よりよい音響効果を得るために

音はスピーカーの置きかたによって変わります。例えば、床の上や部屋の隅に置くと、低音が増します。

下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- 平らで安定した場所に設置する
- 左右のスピーカー周囲の様子ができるだけ同じにする
- スピーカーは壁から離す
- 硬い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛け反射を少なくする
- 左右のスピーカーの間隔を広げる
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する
- 鑑賞時の耳の位置と同じくらいの高さにスピーカーを設置する

### 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しよう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット  
シンボルマーク

## ■ スピーカーについて

- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クリジットカード）を置いたり、本機をテレビやパソコンの近くに置かないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音がひずんだときは、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカーの破損の原因になることがあります。）

## ■ 長期間使用しないときは

電源を切った状態でも電力を消費しています。  
(⇒ 32)

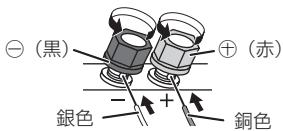
節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。時計を設定してあるときは、再設定が必要になります。(⇒ 22)

## ■ スピーカーコード接続部の透明シートについて

本体のスピーカーコード接続部に取り付けられている透明シートは外さないでください。機能を維持するために必要なものです。

## ① 右スピーカーにスピーカーコードを接続する

① つまみを回してゆるめ、穴に芯線を差し込む



② つまみを締める



③ 左スピーカーも同様にして接続する

スピーカーコードをショートさせないでください。  
(⇒下記 お願い)

## ③ FM 簡易型アンテナとAM ループアンテナを接続する

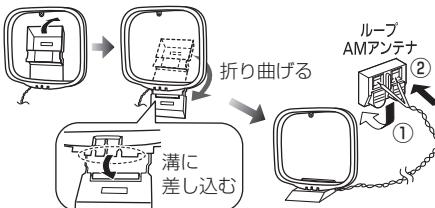
(FM 簡易型アンテナ)

電源を入れたあとラジオの周波数を合わせて(⇒16)、雑音の少ない位置で壁や柱にテープで留めてください。

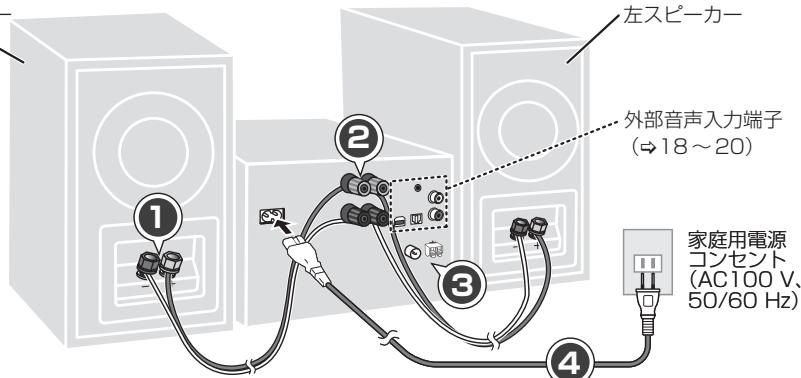


(AM ループアンテナ)

電源を入れたあとラジオの周波数を合わせて(⇒16)、雑音の少ない位置や向きに置いてください。



右スピーカー



## ② 本体に左右のスピーカーコードを接続する

① 隙間が見えるまでつまみを回してゆるめ、隙間に芯線を差し込む

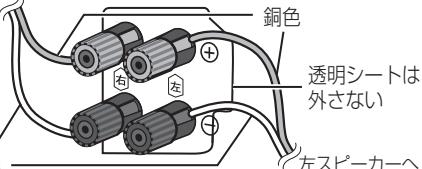


② つまみを締める

ビニール部分は差し込まない



右スピーカーへ

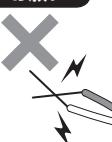


## ④ 電源コードを接続する

最後に接続します。

① 本体に電源コードを接続する  
② コンセントに電源プラグを差し込む  
しばらく待ってから電源を入れてください。

お願い



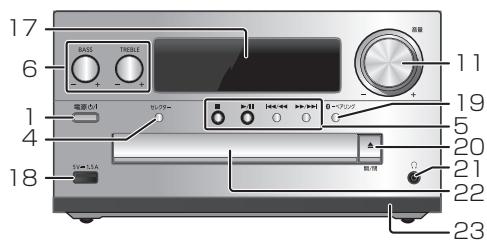
スピーカーコードをショートさせないでください。回路が破損するおそれがあります。

# 各部の名前と働き

## リモコン



## センターユニット



- [電源] ボタン /  
[電源 **レバ**] ボタン : 電源を入 / 切する  
電源「**レバ**」(切 : スタンバイ) 状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため、電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。電源「**レバ**」(切 : スタンバイ) 状態でも、電力を消費しています。
- 数字ボタン** : 番号を選ぶ
  - 2桁の番号を選ぶには[ $\geq 10$ ]を押してから数字ボタンを押す  
(例:「12」は [ $\geq 10$ ] → [1] → [2])
  - 3桁の番号を選ぶには[ $\geq 10$ ]を2回押してから数字ボタンを押す  
(例:「124」は [ $\geq 10$ ] → [ $\geq 10$ ] → [1] → [2] → [4])
- [消去] ボタン : プログラム曲を消去する
- 音源を切り換える (⇒ 11, 13, 16, 18)
- リモコン**
- [**Bluetooth**] ボタン : 「BLUETOOTH」
- [CD/USB] ボタン : 「CD」 ↔ 「USB」
- [ラジオ、EXT-IN] ボタン :
 

「FM」 → 「AM」 → 「AUDIO IN」 → 「AUX」  
   ↑                    ↑                    ↑                    ↑  
   「PC」 ← 「OPT」 ← 「AUX」 ← 「AUDIO IN」
- センターユニット**
- [セレクター] ボタン :
 

「CD」 → 「BLUETOOTH」 → 「FM」 → 「AM」  
   ↑                    ↓  
   「PC」 ← 「USB」 ← 「OPT」 ← 「AUX」 ← 「AUDIO IN」
- 再生操作ボタン**
- [D.BASS] ボタン /  
[サウンド] ボタン /  
[プリセットEQ] ボタン :  
音質・音場効果を調整する (⇒ 21)
- [BASS] つまみ /  
[TREBLE] つまみ :  
低域・高域を調整する (⇒ 21)
- [再生メニュー] ボタン :  
再生メニュー画面に入る
- [表示切換] ボタン : 表示を切り換える

# Bluetooth® を楽しむ

- 9 [スリープ] ボタン /  
[①、再生] ボタン /  
[時計 / タイマー] ボタン：  
時計・タイマーを操作する
- 10 [プログラム] ボタン：プログラムプレイを  
入 / 切する
- 11 [+ 音量 -] ボタン / 音量つまみ：  
音量を調節する  
0(最小) ~ 50(最大)
- 12 [消音] ボタン：一時的に消音する
  - 解除するには
    - もう一度押す
    - 音量を調節する
    - 電源を切って、再度入にする
- 13 [設定] ボタン：本機を設定する
- 14 [ラジオメニュー] ボタン：ラジオメニュー  
画面に入る
- 15 [▲][▼][◀][▶]/[決定] ボタン：  
メニューや設定画面などで選んで決定する／  
アルバムを選ぶ
- 16 [ディマー] ボタン：  
表示部の明るさを調節する
  - 押すと表示部が暗くなります。  
もう一度押すと元の明るさに戻ります。
- 17 表示部
- 18 USB 端子：USB デバイスを接続する (⇒ 13)
- 19 [＊ - ペアリング] ボタン：
  - Bluetooth® を音源に選ぶ (⇒ 右記)
  - Bluetooth® 機器とペアリングする /  
解除する (⇒ 右記)
- 20 [△ 開 / 閉] ボタン：  
CD トレイを開 / 閉する
- 21 ヘッドホン端子
- 22 CD トレイ部
  - CD トレイ部の前に物を置かないでください。
- 23 リモコン受信部
  - 受信範囲 正面…7 m 以内  
左右…各約 30°
    - 距離と角度はおよその数値です。
    - 受信部とリモコンの間に障害物を置かない  
でください。

Bluetooth® に対応した機器を本機に登録すると、  
機器の音楽などをワイヤレスで楽しむことができます。

- Bluetooth® 機器の詳細は、機器に付属の説明書  
もお読みください。

## 準備する

- 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、  
機器を本機に近づける。
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効に  
する。
- 本機と他の機器がすでに Bluetooth® 接続されて  
いる場合、その機器の Bluetooth® 接続を解除  
してください。

準備する

Bluetooth®

## 手動で登録・接続する

- 1 [＊] を押して「BLUETOOTH」  
を選ぶ  
表示部に「PAIRING」と表示された場合  
⇒ 手順 3 へ
- 2 「再生メニュー」を押して  
「PAIRING」を選び、[決定] を押す  
表示部に「PAIRING」と表示されます。
  - 本機の[＊ -ペアリング]ボタンを押したま  
まにすることで、登録待機状態にすること  
もできます。
- 3 Bluetooth® 機器側で Bluetooth®  
の接続画面などを開き、  
「SC-PMX90」を選んで登録する  
  - 本機が表示される前に MAC アドレス（機  
器に固有の英数字）が表示される場合があ  
ります。
  - 登録された機器名が表示部に数秒間表示さ  
れます。

## お知らせ

- パスキーの入力を要求された場合は「0000」（ゼロ  
4 つ）を入力してください。
- 登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録  
数を超えて登録すると、登録の古いものから上書き登  
録され、以前の登録が取り消されることがあります。  
この場合、登録をやり直してください。

## ■ 機器を再生する

- 1 [  ] を押して「BLUETOOTH」を選ぶ  
表示部に「READY」と表示されます。
- 2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「SC-PMX90」を選んで接続する  
登録された機器名が表示部に数秒間表示されます。
- 3 Bluetooth® 機器で音楽などを再生する

### ■ リモコンでの操作

停止	[ ■ ] を押す
一時停止	[ ▶/II ] を押す ● 再開するには [ ▶/II ] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[◀◀][▶▶] を押す
早送り / 早戻し (サーチ)	再生中 / 一時停止中に、 [◀◀][▶▶] を聴きたい位置まで 押したままにする

### お知らせ

- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。
- 「BLUETOOTH」セレクターを選ぶと、本機は自動的に最後に接続していた Bluetooth® 機器と接続しようとします。(この時、表示部に「LINKING」と表示されます) 自動的に接続されない場合は、一度接続を解除してから接続操作を行ってください。
- 本機と Bluetooth® 機器を接続し、本機のリモコンを操作する場合、Bluetooth® 機器が AVRCP(Audio Video Remote Control Profile) に対応している必要があります。お使いの機器やその状態によっては、操作できない場合があります。

## 入力レベルの変更

本機の音量を大きくしても出力に不足を感じる場合、入力レベルを変更してください。

- ① 本機と Bluetooth® 機器を接続したあとに  
[再生メニュー] を数回押して  
「INPUT LEVEL」を選ぶ
- ② [◀][▶] を押してレベルを選び、[決定] を押す  
● 「LEVEL 0」から「LEVEL + 2」まで調整  
できます。

### お知らせ

- 音がひずんで聞こえる場合、「LEVEL 0」を選択してください。
- お買い上げ時の設定は「LEVEL 0」です。

## 通信モードを切り換える

- 音質、通信のどちらを重視するかを設定します。
- ① [  ] を押して「BLUETOOTH」を選ぶ
    - 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。
  - ② [再生メニュー] を数回押して  
「LINK MODE」を選ぶ
  - ③ [◀][▶] を押してモードを選び、[決定] を押す

MODE 1：通信の安定性重視  
MODE 2：音質重視 (お買い上げ時の設定)

### お知らせ

- Bluetooth® 接続が安定しない場合は、「MODE 1」をお選びください。
- 映像を伴ったコンテンツを再生すると、画像と音声が同期しないことがあります。「MODE 1」に設定することで改善される場合があります。

## Bluetooth® スタンバイ を設定する

ペアリング済みの Bluetooth® 機器で、Bluetooth® メニューから本機を選択すると、本機はスタンバイ状態から自動的に起動し、Bluetooth® 機器と接続されます。

- ① [設定] を数回押して  
「BLUETOOTH STANDBY」を選ぶ
- ② [◀][▶] を押して「ON」を選び、[決定] を押す

### お知らせ

- Bluetooth® スタンバイを解除するには、手順 2 で「OFF」を選択します。
- Bluetooth® スタンバイを「ON」に設定すると電源切 (スタンバイ) 時の消費電力が増えます。

## 接続を解除する

- ① [再生メニュー] を数回押して  
「DISCONNECT?」を選ぶ
- ② [◀][▶] を押して「OK? YES」を選び、  
[決定] を押す

### お知らせ

- 本機の[  ペアリング] ボタンを押したままにすることで、接続を解除することもできます。
- 「BLUETOOTH」以外のセレクターが選ばれると、Bluetooth® 機器の接続が解除されます。

# CD や USB の音声を聴く

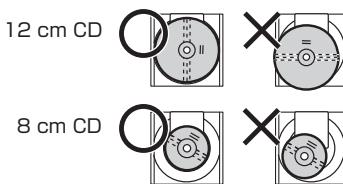
本機で再生できるメディアについては 25 ページをご覧ください。

- 本機では USB デバイス (USB メモリーなど) への録音はできません。

## 音源の準備をする

### CD

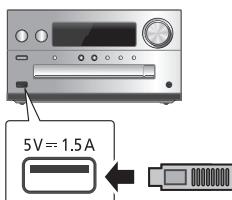
- 1 [電源] を押して電源を入れる
- 2 本体の [▲ 開 / 閉] を押して CD トレイを開き、CD を入れる  
ラベル面を上に、CD トレイの中央に正しく置きます。



- 3 本体の [▲ 開 / 閉] を押して CD トレイを閉める

### USB

- 1 パソコンなどから USB デバイスに音楽ファイルを入れる
- 2 [電源] を押して電源を入れる
- 3 USB デバイスを本機の USB 端子に接続する



## お知らせ

- 接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。
- USB 延長ケーブルは使用しないでください。本機では正しく動作しません。
- USB デバイスの使用後は、本機から取り外してください。
- USB デバイスを取り外す時は、セレクターを「USB」以外に切り換えてください。

## 音源を再生する

- 1 [CD/USB] を押してセレクターを「CD」または「USB」に切り換える

押すたびに表示が切り換わります。

- 2 [▶/II] を押す

再生が始まります。

停止する	[■] を押す • USB デバイスの音源の場合「RESUME」が表示され、停止した位置を記憶します。 • 最初から再生するにはもう一度 [■] を押してから [▶/II] を押す
一時停止	[▶/II] を押す • 再開するには [▶/II] を押す
曲を飛ばす(スキップ)	[◀◀][▶▶] を押す (本体では [◀◀]/[◀◀][▶▶]/[▶▶]) を押す
アルバムを選ぶ(アルバムスキップ) *1	[▲][▼] を押す • 停止中は、[▲][▼] を押してから、数字ボタンを押すことでも選べます。
早送り / 早戻しする(サーチ) *2	再生中 / 一時停止中に、[◀◀][▶▶] (本体では [◀◀]/[◀◀][▶▶]/[▶▶]) を押したままにする
好きな曲から聞く(ダイレクトプレイ)	数字ボタンを押す (⇒ 10) • ランダムプレイ (⇒ 14)、プログラマムプレイ (⇒ 15) の設定中は操作できません。

\*1 MP3/AIFF/FLAC/WAV/AAC/DSD 形式ファイルで選択可能

\*2 DSD 形式ファイルのサーチ中には音は出ません。

Bluetooth®

CD/USB

# CD や USB の音声を聴く (続き)

## 表示を切り換える

曲名、アーティスト名、アルバム名、ファイルの種類、ビットレートなどの情報を見ることができます。(音源ごとに表示される内容は変わります)

### 再生中／一時停止中に [表示切換] を押す

例: USB デバイス (MP3 形式のファイル) の表示  
「A□□□」: アルバム番号  
「T□□□」: トラック番号

(「□」は数字を表しています。)

“■” : アルバム名に切り換え時に表示  
“♪” : トラック名に切り換え時に表示

### ■ CD (CD-DA)

「CD」 + トラック番号 +  
再生経過時間 → 再生経過時間  
↑ ↓  
トラック番号 + 再生残り時間

### ■ CD (MP3) や USB デバイス

「CD」または「USB」 → トラック番号 + → トラック番号 +  
+ 再生経過時間 → 再生経過時間 → 再生残り時間  
↓  
“■”  
ファイル形式  
↑  
ビットレート  
↑  
“TAG OFF” \*  
“TAG ART” (ID3 アーティスト名) ← “TAG TRK” (ID3 曲名) ← “TAG ALB” (ID3 アルバム名)  
曲名  
↑  
アルバム名  
↑  
“♪”

\* この他に表示する情報はありません。

「CD」または「USB」 + 再生経過時間の表示に戻ります。

## 再生範囲を変える / 順不同で聴く (再生モード)

### 1 [再生メニュー] を数回押して「PLAYMODE」を選ぶ

押すたびに表示が切り換わります。

### 2 [◀][▶] を押して再生モードを選び、[決定] を押す

OFF	通常再生
PLAYMODE	
1-TRACK	1 曲を再生 ("1"、"■" が点灯します。)
1-ALBUM *	アルバムを再生 ("1"、"■" が点灯します。)
RANDOM	曲をランダムに再生 ("RND" が点灯します。)
1-ALBUM RANDOM *	アルバム内の曲をランダムに再生 ("1"、"■"、"RND" が点灯します。)

\* MP3/AIFF/FLAC/WAV/AAC/DSD 形式ファイルで選択可能

• 「1-ALBUM」または「1-ALBUM RANDOM」の場合は、[決定] を押してから、[▲][▼] で再生するアルバムを選択してください。

### 3 [▶/II] を押す

#### お知らせ

- ランダム再生中は一度再生した曲へスキップできません。
- CD トレイを開けたり USB デバイスを取り外すと、設定は解除されます。

## 14 お知らせ

- 曲名などは、英数字（最大 32 文字）のみ正しく表示されます。本機で対応していない文字は、異なる表示になる場合があります。
- 本機は、ID3 タグのバージョン 1、およびバージョン 2 に対応しています。

## 繰り返し聴く (リピート再生)

再生モードと組み合わせて設定できます。

- 1 [再生メニュー] を数回押して「REPEAT」を選ぶ  
押すたびに表示が切り換わります。
- 2 [◀][▶] を押して「ON REPEAT」を選び、[決定] を押す  
“” が点灯します。
- 3 [▶/II] を押す

### ■ 解除するには

上記の手順2で「OFF REPEAT」を選ぶ



• CD トレイを開けたり USB デバイスを取り外すと、設定は解除されます。

## 曲を選んで聴く (プログラムプレイ)

好みの曲を好きな順に、最大 24 曲までプログラムできます。

### ■ CD (CD-DA)

- 1 停止中に、[プログラム] を押す  
表示部に “PROGRAM” と表示されます。
- 2 数字ボタンを押して曲を選ぶ  
続けて選ぶときはこの操作を繰り返します。
- 3 [▶/II] を押す  
再生が始まります。

### ■ CD (MP3) や USB デバイス

- 1 停止中に、[プログラム] を押す  
表示部に “PROGRAM” と表示されます。
- 2 [▲][▼] を押してアルバムを選ぶ

3 [▶/II] を押してから数字ボタンを押して曲を選び、[決定] を押す  
(続けて選ぶときは手順 2 と手順 3 の操作を繰り返します。)

- 4 [▶/II] を押す  
再生が始まります。

停止する	再生中に [■] を押す • USB デバイスの音源の場合は [■] を2回押す (プログラム内容は保持)
内容を確認する	プログラムプレイの停止中に、 [◀◀][▶▶] (本体では [◀◀/◀◀][▶▶/▶▶]) を押す
曲を追加する	プログラムプレイの停止中に、 CD (CD-DA) の手順 2 (左記) を行う • CD (MP3) や USB デバイス が音源の場合は手順 2 と手順 3 を行う
通常の再生に戻す	プログラムプレイの停止中に、 [プログラム] を押す • 「PGM OFF」と表示されます (プログラム内容は保持) • プログラムプレイに戻るには 停止中に、[プログラム] → [▶/II] を押す
最後の 1 曲を取り消す	プログラムプレイの停止中に、 [消去] を押す • プログラム曲を選んで取り消すことはできません。
プログラムをすべて取り消す	① プログラムプレイの停止中に、[■] を押す ② 「CLEAR ALL」が表示されている間に、[■] をもう一度押す



- 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
- CD トレイを開けたり USB デバイスを取り外すと、プログラム内容は取り消されます。
- プログラムの合計再生時間は表示されません。

# ラジオを聴く

ラジオをご利用になるためには、付属の FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナの両方を接続してください。(⇒ 9)

## 放送局を記憶させて聴く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聴くことができます。FM/AM 各 15 局まで記憶することができます。

### 自動でチャンネルを記憶させる (オートプリセットメモリー)

自動で各チャンネルに受信できる放送局を割り当てます。

- 1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押してセレクターを「FM」または「AM」に切り換える
- 2 [ラジオメニュー] を押して「A.PRESET」を選ぶ
- 3 [◀][▶] を押して周波数の割り当て順を選ぶ  
LOWEST:  
1 番低い周波数から割り当てます。  
CURRENT:  
現在受信中の周波数から割り当てます。
- 4 [決定] を押す  
周波数が動いて、現在受信できる放送局がチャンネルに記憶されます。  
●途中で止めるときは、[■] (停止) を押してください。

### 記憶させた放送局を聴く (プリセットチューニング)

- 1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押してセレクターを「FM」または「AM」に切り換える
- 2 [◀◀][▶▶] を押してチャンネルを選ぶ  
●数字ボタン(⇒ 10)でもチャンネルを選べます。  
●選局モード(⇒ 17)が「PRESET」の時は、本体の [◀◀/◀◀][▶▶/▶▶] を押してチャンネルを選べます。

## 周波数を手動で合わせて聴く

放送局の周波数に手動で合わせて、放送を聴くことができます。(マニュアルチューニング)

- 1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押してセレクターを「FM」または「AM」に切り換える
- 2 [◀◀][▶▶] を押して周波数を合わせる  
●選局モード(⇒ 17)が「MANUAL」の時は、本体の [◀◀/◀◀][▶▶/▶▶] を押してチャンネルを選べます。

## ■ 自動選局するには（オートチューニング） 周波数が動き始めるまで [◀◀][▶▶] を押したままにする

（放送を受信すると止まります。）

- 好みの放送局を受信するまで、同じ操作を繰り返します。
- 周囲に妨害電波があると、放送を受信しなくても周波数が止まることがあります。

## ■ 選局モードを設定するには

選局モードを選ぶことでマニュアルチューニング（「MANUAL」）か、プリセットチューニング（「PRESET」）を選ぶことができます。

- ① [ラジオメニュー] を数回押して「TUNE MODE」を選ぶ
- ② [◀][▶] を押して「MANUAL」または「PRESET」を選び、[決定] を押す

## ■ チャンネルを記憶させるには

（マニュアルメモリー）

「自動でチャンネルを記憶させる（オートプリセットメモリー）」（⇒ 16）で記憶させたチャンネルに上書きしたり、FM モノラル受信（⇒ 右記）で記憶させたりできます。

- ① 「周波数を手動で合わせて聞く」（⇒ 16）の手順 2で周波数を合わせて、[プログラム] を押す
- ② 合わせた周波数が点滅中に、数字ボタン（⇒ 10）を押してチャンネルを選ぶ
- 「記憶させた放送局を聞く（プリセットチューニング）」（⇒ 16）で、放送局を選べます。

## ■ FM ステレオ放送で雑音が多いときは (FM モノラル受信)

- ① FM 受信中に、[ラジオメニュー] を数回押して「FM MODE」を選び
- ② [◀][▶] を押して「MONO」を選び、[決定] を押す
- ステレオ受信に戻すには、上記手順 ②で「STEREO」を選びか、周波数を切り替えます。

## ■ FM 放送の受信状態を確認するには

FM 放送受信中に、[表示切換] を押す

「FM ST」：ステレオ放送を受信時

「FM ----」：ラジオ放送を受信していない、FM 放送を受信しているが電波が弱い、またはモノラル放送を受信時

「FM MONO」：「FM MODE」で「MONO」設定時

- 周波数が合っていない場合や受信状態が悪い場合、モノラル受信の場合、「FM ----」と表示されます。

## ■ FM がうまく受信できないときは

山間部や鉄筋ビルの中など、電波が弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をお勧めします。FM 専用アンテナ（市販品）やブースター（増幅器・市販品）の使用が必要になることがあります。

- 詳しくは、販売店にご相談ください。

## お知らせ

- FM ステレオ放送で雑音が多いときは、音質・音場効果（⇒ 21）を切ることで改善することもあります。
- ステレオ放送を受信すると「STEREO」と表示されます。

# 外部機器の音声を本機で聴く

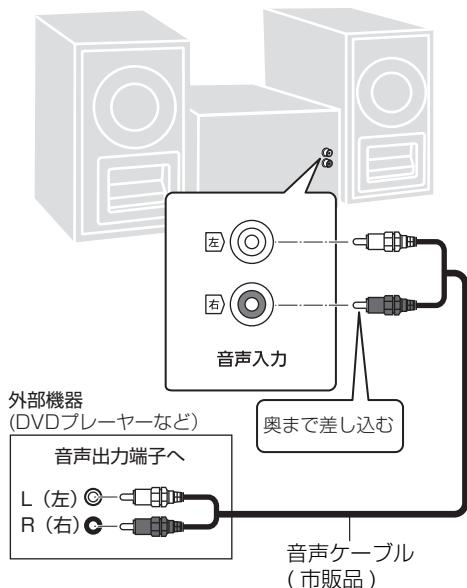
DVD プレーヤーやパソコン、携帯音楽プレーヤーなどの外部機器の音声を本機で楽しめます。光デジタル音声入力(OPT IN)端子またはデジタル音声入力(PC 入力)端子に接続することで、ハイレゾ(High-Resolution)音源を楽しむこともできます。

## お知らせ

- 外部機器を接続するときは、本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 接続する機器の説明書もご覧ください。

## 音声入力端子に接続して聴く

本機背面

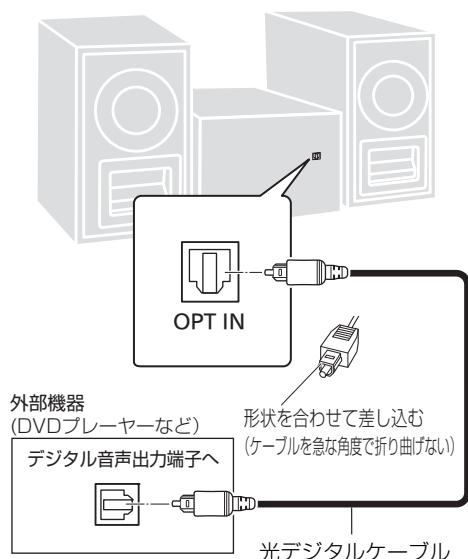


1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して  
「AUDIO IN」を選ぶ

2 外部機器を再生する

## 光デジタル音声入力 (OPT IN) 端子に接続して聴く

本機背面



1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して  
「OPT」を選ぶ

2 外部機器を再生する

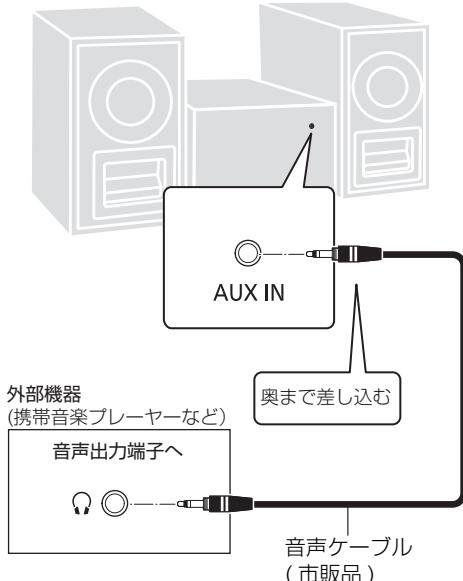
## お知らせ

• 本機のデジタル音声入力は、以下のリニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。

- サンプリング周波数 : 32, 44.1, 48, 88.2, 96 kHz
- 量子化ビット数 : 16, 24 bit

AUX 入力 (AUX IN)  
端子に接続して聞く

本機背面



- 1 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して「AUX」を選ぶ
  - 2 外部機器を再生する

## お知らせ

- AUX IN 端子に接続しているときは入力レベルなどを調整することができます。(⇒ 右記、「入力レベルを調整する」)

外部入力スタンバイ  
(AUX-IN AUTO PI AY)

AUX 入力端子に接続した外部機器側で音楽の再生を始めるだけで、自動で本機の電源が入り、セレクターも「AUX」に切り換わります。本機がスタンバイ状態にあるときも、この機能は働きます。

- 1 [設定] を数回押して「AUX-IN AUTO PLAY」を選ぶ
  - 2 [◀][▶] を押して「ON」を選び、「決定」を押す

## お知らせ

- お買い上げ時の設定は「OFF」です。
  - 設定が「OFF」になっているときは、「AUX」を選ぶたびに「AUX-IN AUTO PLAY IS OFF」と表示されます。
  - 外部機器の音量が小さいときは、この機能が働かないことがあります。外部機器側の音量を上げてください。
  - 「ON」に設定しているときに、意図せず電源が入ったり、セレクターが自動で「AUX」に切り換わる場合があります。その場合はAUX入力端子に接続している外部機器の再生を停止させるか、手順2で「OFF」に設定してください。
  - 「AUX-IN AUTO PLAY」を「ON」に設定すると、電源切（スタンバイ）時の消費電力が増えます。（約1.9W）

### 入力レベルを調整する

AUX 入力端子に接続した機器の音声入力のレベルを調整することができます。他の音源に比べて音が大きく感じる場合は、「LOW」に設定してください。

- 1 [サウンド] を数回押して「INPUT LEVEL」を選ぶ
  - 2 [◀][▶] を押して「LOW」を選び、[決定] を押す

## お知らせ

- お買い上げ時の設定は「HIGH」です。
  - 音が小さく感じるときは、手順2で「HIGH」を選んで入力レベルを上げてください。
  - 入力信号のレベルが高いと、音がひすむ場合があります。  
音がひすんで聴こえる場合は、「LOW」を選んでください。

# 外部機器の音声を本機で聴く (続き)

## パソコンに接続して聴く (PC 入力)

### ■ パソコンを接続する場合

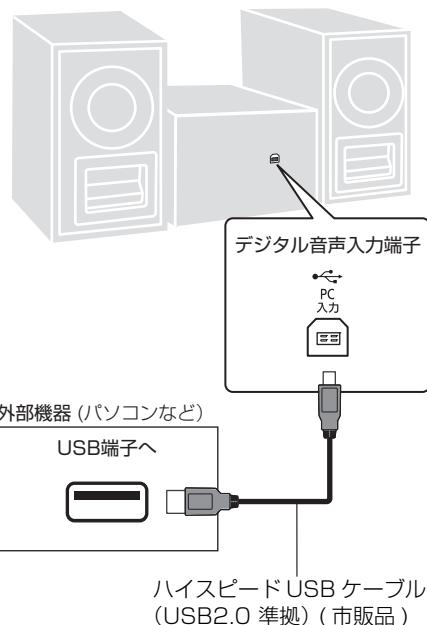
接続前に下記の操作を行ってください。

- パソコンの推奨OSについては下記をご確認ください。
    - Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10
    - OS X 10.7、10.8、10.9、10.10、10.11
    - macOS 10.12、10.13
- ① ご使用のパソコンに専用ドライバーソフトをダウンロードする (Windows OSのみ) 下記 URL からダウンロード・インストールしてください。  
<https://panasonic.jp/support/audio/>
- ② ご使用のパソコンに専用アプリケーション「Panasonic Audio Player 2」(無料)をダウンロード・インストールする (Windows OS/OS X共通) 下記 URL からダウンロード・インストールしてください。  
<https://panasonic.jp/support/audio/>

### 1 本機とパソコンなどを接続する

- 本機と電源コードを接続している場合は、USB ケーブルを接続する前に本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。

#### 本機背面



### 2 本機と電源コードを接続して、 本機の電源を入れる

### 3 [ラジオ、EXT-IN] を数回押して 「PC」を選ぶ

### 4 パソコンなどを操作して音楽を再生 する

#### お知らせ

- 再生可能なファイルについては「仕様」(⇒ 32) を参照してください。
- ハイレゾ音源を再生する場合は、ハイスピード USB ケーブル (USB2.0 準拠) をお使いください。

# 音質・音場効果を楽しむ

お好みの音質や音場を設定してお楽しみください。

## 低音 / 高音を調整する

- [サウンド] を数回押して「BASS」(低音) または「TREBLE」(高音) を選ぶ
- 音質・音場メニュー画面の表示中に、[◀][▶] を押してレベルを調整する
  - 各レベルはそれぞれ「-4」から「+4」まで調整できます。
- 本体で調整するには  
BASS つまみ・TREBLE つまみを回して調整する

## 好みの音質を楽しむ (EQ : イコライザー)

[プリセット EQ] を数回押して好みの音質を選ぶ

HEAVY	ロックなどパンチを効かせるとき
SOFT	BGMとして聴くとき
CLEAR	ジャズなど高音部を鮮明にするとき
VOCAL	ボーカルにつやを出したいとき
FLAT	効果を使わないとき (お買い上げ時の設定)

- 設定した項目に合わせて「BASS」と「TREBLE」の設定も変更されます。

## サラウンド効果を楽しむ

- [サウンド] を数回押して「SURROUND」を選ぶ
- 音質・音場メニュー画面の表示中に、[◀][▶] を押して「ON SURROUND」を選ぶ
- 解除するには  
手順2で「OFF SURROUND」を選ぶ

## 豊かな低音で聴く

重低音を大きくします。

[D.BASS] を数回押して「ON D.BASS」を選ぶ

- 解除するには  
[D.BASS] を数回押して「OFF D.BASS」を選ぶ

## お知らせ

- 再生する音源によっては効果が少ないものもあります。
- 再生する音源によっては、意図したとおりの音質・音場効果が得られないことがあります。このようなときは機能を切ってください。

使いこなす

# タイマーを使う

## 時計を合わせる

- 1 [時計 / タイマー] を数回押して「CLOCK」を選ぶ
- 2 時計画面の表示中に[▲][▼]を押して時計を合わせる
  - 時刻を数字ボタンで入力する場合  
例：16 時 5 分  
[1] → [6] → [0] → [5] を押す  
(間違えた場合は、「消去」を押す)
- 3 [決定] を押して時刻を決定する

### ■ 時計を確認するには

[時計 / タイマー] を押す

- 電源切時も[時計 / タイマー]を押すことで表示できます。

### お知らせ

- 本機の時計は 24 時間表示です。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的な時刻補正をお勧めします。

## おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

### [スリープ] を数回押してタイマーの時間を選ぶ（分単位）

押すたびに：

「SLEEP 30」 → 「SLEEP 60」 → 「SLEEP 90」



- ボタン操作しないと 1 分おきに残り時間が表示されます。残り 1 分を切ると「SLEEP 1」が表示され続けます。

### お知らせ

- おめざめタイマー(⇒ 22)と組み合わせて使う場合、おやすみタイマーが優先されます。

## おめざめタイマー

設定した時刻になると、毎日、電源が入って指定した音源を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

### 準備する

- 時計を合わせる(⇒ 左記)
- 再生する音源(CD、USB デバイス、ラジオ)を準備する
- (ラジオの場合) FM/AM の放送局をチャンネルに記憶させる(⇒ 16)

### タイマーの時刻と音源を設定する

- 1 [時計 / タイマー] を数回押して「TIMER ADJ」を選ぶ
- 2 [▲][▼] を押して開始時刻(「ON TIME」)を設定し、[決定] を押す
  - 時刻は数字ボタンでも入力できます。  
(⇒ 左記、「時計を合わせる」手順2)
- 3 [▲][▼] を押して終了時刻(「OFF TIME」)を設定し、[決定] を押す
  - 時刻は数字ボタンでも入力できます。  
(⇒ 左記、「時計を合わせる」手順2)
- 4 [▲][▼] を押して再生したい音源を設定し、[決定] を押す
  - 「CD」、「USB」、「FM」、「AM」でおめざめタイマーを設定することができます。

# 便利な機能

## タイマーを動作させる

1 [+ 音量 -] を押して再生したい音量に合わせる

2 [①、再生] を押す

- 表示部に“①”が表示されます。

タイマーを解除するには、もう一度[①、再生]を押して“①”を消してください。

3 [電源] を押して電源を切る

- 電源を切らないとタイマーは動作しません。

■ 設定したタイマーを確認するには

[時計 / タイマー] を数回押して

「TIMER ADJ」を選ぶ

(電源切時は [時計 / タイマー] を2回押す)

- 設定時刻、音源、音量の確認ができます。

## お知らせ

- 設定した時刻になると、設定した音量までフェードイン(徐々に大きく)して再生します。
- おめざめタイマーを有効にしている限り、毎日同じ時間にタイマーが動作します。
- おめざめタイマー動作中に本機の電源を切／入した場合、タイマーは設定した時刻に終了しません。
- おめざめタイマー設定後に、設定時と異なる音源、音量のままで電源を切っても、おめざめタイマーは設定時の音源、音量で動作します。

## リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンを操作すると、本機にも影響してしまうことがあります。

このときは、リモコンモードを変えてください。

- お買い上げ時の設定は「REMOTE 1」です。

本体側を「REMOTE 2」に切り換えるには：

1 [CD/USB] を押して、セレクターを「CD」に切り換える

2 本体の【■】を押したまま、リモコンの「2」を2秒以上押したままにする「REMOTE 2」と表示されます。

リモコン側を「REMOTE 2」に切り換えるには：

3 リモコンの〔決定〕と「2」を4秒以上押したままにする

### 動作を確認してください

リモコンの操作ができれば、正しく設定されています。リモコンが働かないときは、表示部に表示されている数字にリモコン側を切り換えてください。

例：「U30 REM2」と表示された場合手順3を行ってください。

■ リモコンモードを「REMOTE 1」に戻すには

- [CD/USB] を押して、セレクターを「CD」に切り換える
- 本体の【■】を押したまま、リモコンの「1」を2秒以上押したままにする
  - 「REMOTE 1」と表示されます。
- リモコンの〔決定〕と「1」を4秒以上押したままにする

# 便利な機能 (続き)

## 電源の切り忘れを防ぐ (オートオフ)

無音の状態が 20 分以上続き、その間ボタン操作などがなかったときに、自動的に電源が切れます。

- お買い上げ時の設定は「ON」です。
- この機能はラジオを選択している場合には働きません。

### ■ 解除するには

- 1 [設定] を数回押して「AUTO OFF」を選ぶ
- 2 [◀][▶] を押して「OFF」を選び、[決定] を押す

- 再度、有効にするときは「ON」を選択します。

### お知らせ

- オートオフ機能は無効にしない限り、電源を切／入しても働きます。
- ラジオを選択している場合、「AUTO OFF」は表示されません。
- Bluetooth® 機器を本機と接続している場合、オートオフ機能は働きません。

## ソフトウェアのバージョンを確認する

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のソフトウェアを必要に応じて更新しています。  
詳しくは下記をご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/audio/>

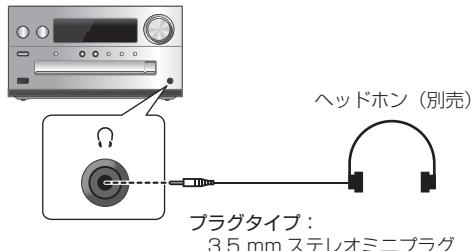
### [設定] を数回押して「SW VER.」を選び、[決定] を押す

- バージョン情報が表示されます。
- 終了するには、再度 [決定] を押してください。

## ヘッドホンで聴く

本機はハイレゾ音源に対応しています。

ハイレゾ音源再生対応ヘッドホンを接続することで、ハイレゾ音源をヘッドホンで楽しむことができます。



### ■ お願い

- ヘッドホンを接続するときは、音量を下げてください。また、耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

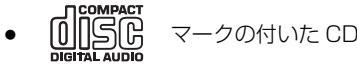
# 対応メディアについて

## CD

本機は以下のディスクを再生することができます。

市販の音楽 CD (CD-DA)	○
CD-R/CD-RW (CD-DA)	○
CD-R/CD-RW (MP3)	○

### ■ 使用できる CD



- CD-DA フォーマットで記録された音楽用の CD-R/CD-RW (ファイナライズ\*されたもの) – 記録状態によっては再生できない場合があります。  
\* 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。
- 本機は最大 99 トラックまで読み取ることができます。

### ■ 使用できない CD

- ハート型など、特殊形状の CD (故障の原因になります。)

### ■ 使用を保証していない CD

- 違法にコピーしたディスクや規格外ディスク
- DualDisc (デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク)

### ■ CD-R/CD-RWに記録されたMP3ファイル

- 使用できるフォーマット：ISO9660 level1 および level2 (拡張フォーマットを除く)
- 同一ディスクで MP3 と通常の音楽 CD (CD-DA) の両方の形式が記録されている場合、本機はディスクの最も深い階層に記録されている形式を再生します。
- パケットライト方式で記録されたファイルは再生できません。
- ファイルをトラック、フォルダーをアルバムと表現しています。
- 最大アルバム数 255、トラック数 999 まで再生できます。(ルートフォルダを含む)
- ファイルの記録方法によっては、再生順が異なったり再生できない場合があります。

## USB デバイス

● すべての USB デバイスとの接続を保証するわけではありません。

- 本機は FAT12、FAT16 および FAT32 形式でフォーマットされた USB デバイスに対応しています。
- 本機はハイスピード USB (USB2.0 準拠) に対応しています。
- 本機は32 GB以下の容量のUSBデバイスに対応しています。
- USB ハブを経由した接続はできません。USB デバイスは本機に直接接続してください。
- USB 接続のカーデリーダーライターは使用できません。
- 本機は以下の拡張子のファイル形式に対応しています：  
MP3 (“.mp3”)、AIFF (“.aiff”)、  
FLAC (“.flac”)、WAV (“.wav”)、  
AAC (“.m4a”)、DSD (“.dff”、“.dsf”)
- ファイルをトラック、フォルダーをアルバムと表現しています。
- 最大アルバム数 800、トラック数 8000 (ルートフォルダを含む)、1 つのアルバムにつき 999 トラックまで再生できます。
- ファイルの記録方法によっては、再生順が異なったり再生できない場合があります。

使いこなす

必要なとき

# こんな表示が出たら

表示文字	意味	調べるところ・対策
--:-	最初に電源コードを接続したとき、または電源障害から復帰したときに表示されます。	時計を合わせ直してください。(⇒ 22)
ADJUST CLOCK	タイマーを動作させるには時計設定が必要です。	時計を合わせてください。(⇒ 22)
ADJUST TIMER	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定していません。	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定してください。(⇒ 22)
AUTO OFF	本機の使用が 20 分間なかったため、オートオフ機能(⇒ 24)が働き、電源が切れます。	取り消すときは、[決定]などを押してください。
CHECKING CONNECTION	接続した USB デバイスを確認中です。	表示が消えてから操作を行ってください。
ERROR	誤った操作をしています。	操作をやり直してください。
F □□ F □□□ (「□」は数字を表しています。)	異常が発生しました。(本機は異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切れます。)	著しい大音量で聴いていませんか。また、異常に暑い場所で使用していませんか。 しばらく待ってから再び電源を入れてください。(保護回路の動作が解除されます。) それでも同じ現象が起こる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、約 30 秒後再びコンセントに差し込み、10 秒ほど待ってから電源を入れてください。現象が改善されない場合は、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。
NO DEVICE	USB デバイスが正しく接続されていません。	USB デバイスが正しく接続されているか確認してください。
NO DISC	CD が入っていません。 または、曲の入っていない CD-R などが入っています。	再生できる CD を入れてください。(⇒ 25)
NO PLAY	再生できない曲です。	(その曲をスキップして再生します。)
	再生できないディスクです。	再生できるディスクに取り換えてください。(⇒ 25)
	USB デバイス内のファイルが再生できないフォーマットです。	本機が対応している拡張子のファイル形式を確認してください。(⇒ 25)
	異常が発生しました。	電源を切ったあと、再度電源を入れてください。
DEVICE NO RESPONSE  HUB NOT SUPPORTED  NOT SUPPORTED	対応していない USB デバイスです。	USB デバイスが対応している機器かどうか、確認してください。(⇒ 25)
OPT UNLOCKED	「OPT」セレクターが選ばれていますが、機器が接続されていません。	本機の光デジタル音声入力(OPT IN)端子に外部機器を接続してください。(⇒ 18)
	音声信号のサンプリング周波数などが正しく入力できていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続を確かめてください。(⇒ 20)</li> <li>再生可能なファイルについて(⇒ 20)</li> </ul>

表示文字	意味	調べるところ・対策
PC UNLOCKED	「PC」セレクターが選ばれていますが、本機にパソコンが接続されていません。	本機にパソコンを接続してください。(⇒ 20)
PGM FULL	プログラム曲数が 24 曲を超えるようとしています。	(これ以上のプログラムはできません。)
PLAYEROR	対応していない形式のファイルです。	その曲をスキップして再生します。
READING	情報を読み込んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「READING」が消えてから操作してください。</li> <li>DSD 形式の曲を再生する場合は、情報の読み込みに時間がかかることがあります。読み込みが完了したあと、操作してください。</li> </ul>
USB OVER CURRENT ERROR	USB デバイスに過大な電流が流れるのを検出しました。	USB デバイスを本機から取り外して電源を切 / 入した後、接続をやり直してください。(⇒ 13)
U30 REM1 U30 REM2	リモコンモードの設定が本機と合っていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>“U30 REM1”が表示される場合、リモコンの【決定】と【1】を 4 秒以上押したままにしてください。</li> <li>“U30 REM2”が表示される場合、リモコンの【決定】と【2】を 4 秒以上押したままにしてください。</li> </ul>
VBR	「VBR」が表示された曲は、曲の残り時間が表示されません。	—
WAIT	電源「切」時などに表示されます。	表示が消えるまでお待ちください。

# 故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

## 本機の温度上昇について

長時間使用すると、本機が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

## 本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには

本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

- ① 電源プラグを抜く
  - 30秒以上たってから手順②を行ってください。
- ② 本体の[電源  $\text{H/L}$ ]を押しながら電源プラグを接続する
- ③ 表示部に「—————」が表示されるまで、本体の[電源  $\text{H/L}$ ]を押したままにする
  - リモコンモードなどすべての設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。

## 共通

### 電源が入らない

- 電源コードを接続したあとは、10秒ほど待ってから電源を入れてください。

### リモコン操作ができない

- 電池が消耗している場合は電池を交換してください。(⇒ 6)

### 本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する 他の機器のリモコンで本機が誤動作する

- 他の機器が干渉しないように、本機とリモコンのリモコンモードを変更してください。(⇒ 23)

### 再生中に「ブーン」という音がする

- 接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差しかえてみてください。

### 音がひずむ／音が出ない

- 本機の音量を調節してください。
- スピーカーコードを接続しているつまみが緩んでいませんか。スピーカーコードが正しく接続されているか確認してください。
- スピーカーの接続に問題がない場合は以下の内容をご確認いただき、販売店へご相談ください。  
- 片方のスピーカーのみ音が出ない場合、本体側で、接続しているスピーカーケーブルの左右を差し替えてみる。  
音が出なかったスピーカーから音が出るようになった場合、センターユニットの故障が考えられます。差し替えても音が出ない場合は、スピーカーの故障かスピーカーコードの断線が考えられます。
- 著しい大音量で聴いていませんか。または異常に暑い場所で使用していませんか。音量を下げるなどして原因を解消し、本機の電源を切ってください。しばらく待ってから再び電源を入れてください。
- 本機の光デジタル音声入力端子はリニアPCM(LPCM)信号にのみ対応しています。詳しくは接続する外部機器の説明書などを読みください。

## 雑音が多い

- セレクターが「AUX」の時、1つの機器を外部音声入力端子とUSB端子の両方に接続していると、機器によっては雑音が発生することがあります。その場合、USB端子側の接続を外してください。

## 操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。

- ① [電源 ] を押し、電源を切る

(電源が切れない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、約30秒後再びコンセントに差し込み、10秒ほど待ってください。)

- ② [電源 ] を押し、電源を入れる

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

## CD

## 表示部が変わらない / 再生が始まらない

- ディスクが傷ついていたり、汚れていたりしませんか。(⇒ 7)
- 寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に「つゆつき」が生じることがあります。故障の原因になりますので、「つゆつき」が起りそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2~3時間)、電源を切ったまま放置してください。

## USB

### USBデバイスを接続しても認識されない

- ご使用のUSBデバイスが他の機器で認識できるかどうか、確認してください。

### [▶/■] を押しても再生が始まらない

- 本機で再生できるファイル形式を確認してください。(⇒ 25) また、容量が32GBを超えるUSBデバイスの動作は保証していません。

## 操作に時間がかかる

- 容量の大きいUSBデバイスの場合、操作に時間がかかることがあります。

## ラジオ

### 雑音、ひずみが多く、うまく受信できない

- FM簡易型アンテナとAMループアンテナの両方が接続されていますか。(⇒ 9)
- マニュアルチューニング(⇒ 16)で放送局の周波数に合わせてから、アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。
- アンテナ線を電源コードや他機器の接続ケーブルなどからできるだけ離してください。
- 送信所が遠かったり、近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを利用してみてください。(⇒ 17)
- テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BSチューナーなどの電源が入っていないませんか。また、近くで携帯電話の充電をしていませんか。各機器の電源を切る、または本機と各機器との距離を離してください。

必要なとき

# 故障かな！？(続き)

## Bluetooth®

### Bluetooth® 機器が登録できない

- Bluetooth® 機器の状態を確かめてください。

### Bluetooth® 機器と無線接続されない

- Bluetooth® 機器が登録されていないか、Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。(⇒ 11)
- 本機が他のBluetooth® 機器と接続されていませんか。他のBluetooth® 機器の電源を切ってください。
- 本機の通信モードを「MODE1」に設定してみてください。(⇒ 12)
- 本機の電源を切／入して接続をやり直してください。

### Bluetooth® 機器と接続されているが、本機から音が出ない

- お使いのBluetooth® 機器によっては音声出力を本機に設定しないと音が出ません。Bluetooth® 機器の説明書などをお読みください。
- ワンセグ対応の携帯電話等によっては、その機器の仕様や設定により、音声が再生されないことがあります。その場合、本機の通信モードを「MODE 1」に設定することで改善される場合があります。

### 音が途切れる

- Bluetooth® 通信使用可能距離(約10m)を超えていませんか。本機とBluetooth® 機器を近づけてください。
- 本機とBluetooth® 機器間に障害物がありますか。障害物を避けてください。
- 電子レンジや2.4GHz帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。それらの機器から本機とBluetooth® 機器を離してお使いください。
- 本機の通信モードを「MODE1」に設定してみてください。(⇒ 12)

## 外部機器(AUX)

### 外部入力スタンバイ(AUX-IN AUTO PLAY)が機能しない

- 外部機器は正しく接続されていますか。(⇒ 19)
- 外部機器の音量が小さいと設定されないことがあります。外部機器の音量を上げてください。
- 「AUX-IN AUTO PLAY」の設定が「OFF」になってしまですか。「ON」にしてください。

### 電源を切っているのに、勝手に本機の電源が入る外部機器以外(CD、USBなど)を再生しようとしても、セレクターがAUXから切り換わらない

- 本機がスタンバイ状態であっても、「AUX-IN AUTO PLAY」を「ON」に設定している場合は、音声ケーブル(市販)を接続する際にこの機能が働き、電源が入ることがあります。接続後に使用しない場合は、本機の電源を切ってください。
- 「AUX-IN AUTO PLAY」が「ON」のままで、外部機器の再生停止をし忘れていませんか。外部機器の再生を停止するか、「AUX-IN AUTO PLAY」を「OFF」にしてください。
- 「AUX-IN AUTO PLAY」を「ON」に設定していて、AUX端子でノイズが発生していませんか。

## PC

### パソコンが本機を認識しない

- 動作環境を確認してください。(⇒ 20)
- パソコンを再起動して本機の電源を入れ直してから、USBケーブルを再度接続してください。
- 本機と接続するパソコンのUSB端子を変更してください。
- ご使用のパソコンがWindowsの場合は、専用ドライバーをインストールしてください。

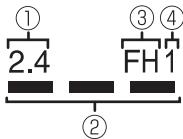
# 無線機能使用上のお願い

## ■ 使用周波数帯

内蔵無線機器は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

## ■ 周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 2.400 GHz～2.4835 GHz の全帯域を使用
- ③ 変調方式が FH-SS 方式
- ④ 電波干渉距離 10 m 以下

## Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーテーションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先： **パナソニック  
DIGA（ディーガ）・オーディオ  
ご相談窓口（⇒裏表紙）**

## ■ 機器認定

内蔵無線機器は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線機器に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す / はがす

## ■ 使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。  
無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID：ネットワークを識別するための名前）が表示されることがあります、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。  
次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  - 電子レンジ
  - デジタルコードレス電話機
  - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
  - 電波が反射しやすい金属物などの近く
- 電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があり傍受される可能性があります。
- すべてのBluetooth® 機器との無線通信を保証するものではありません。
- 無線通信するBluetooth® 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあります、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## ■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。

間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- 無線 LAN を使用中に Bluetooth® 機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線 LAN のご使用をお控えください。

## ■ 用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途\*での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

- \* ハイセイフティ用途：さわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のこと。  
例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御、など

必要なとき

# 仕様

## ■ 総合

電源：	AC100 V、 50/60 Hz
消費電力：	40 W
電源切（スタンバイ）時の消費電力 （「BLUETOOTH STANDBY」を「OFF」に設定時）※1	約 0.25 W
電源切（スタンバイ）時の消費電力 （「BLUETOOTH STANDBY」を「ON」に設定時）※1	約 0.35 W
寸法（幅×高さ×奥行）（センターユニット）：	211 mm × 114 mm × 267 mm
質量（センターユニット）：	約 2.8 kg
許容動作温度：	0 ℃～+40 ℃
許容相対湿度：	35 %～80 % RH（結露なきこと）

## ■ アンプ部

実用最大出力：	60 W + 60 W (JEITA)
実用最大出力合計値：	120 W (同時駆動、JEITA)

## ■ チューナー部

FM	
プリセットメモリー登録数：	15 局
受信周波数帯域：	76.0 MHz～108.0 MHz (100 kHz ステップ)
アンテナ端子：	75 Ω（不平衡型）
AM	
プリセットメモリー登録数：	15 局
受信周波数帯域：	522 kHz～1629 kHz (9 kHz ステップ)

## ■ CD 部

再生可能ディスク：	8 cm/12 cm
再生可能フォーマット：	CD、CD-R、CD-RW CD-DA、MP3※2
ピックアップ 波長：	790 nm (CD)

## ■ スピーカー部（1 本あたり）

スピーカーユニット	
ウーハー：	14 cm コーン型 × 1
ツイーター：	1.9 cm ドーム型 × 1
スーパーツイーター：	1.5 cm ピエゾ型 × 1
インピーダンス：	3 Ω
寸法（幅×高さ×奥行）：	161 mm × 238 mm × 262 mm
質量：	約 2.6 kg

## ■ Bluetooth® 部

バージョン：	Bluetooth® Ver. 2.1+EDR
送信出力：	Class 2 (2.5 mW)
対応プロファイル：	A2DP (SCMS-T 対応) /AVRCP
対応コーデック：	AAC、SBC
通信方式：	2.4 GHz Band FH-SS
見通し通信距離：	約 10 m※3

## ■ 端子部

ヘッドホン：	ステレオ、Ø3.5 mm
USB (USB-A) :	フロント USB タイプ A コネクタ
最大フォルダ数（アルバム数）：	800
最大ファイル数（曲数）：	8000
ファイルシステム：	FAT12、FAT16、FAT32
USB ポート出力	DC OUT 5 V、1.5 A MAX
PC 入力 (USB-B) :	リア USB タイプ B コネクタ
AUX IN :	ステレオ、Ø3.5 mm
音声入力：	Line input (Pin Jack)
デジタル入力：	光デジタル入力 (光角型端子)
サポートフォーマット：	LPDM

## ■ フォーマット

USB-A	
USB Standard :	USB 2.0 High-speed
USB Mass Storage class	
再生フォーマット：	
MP3	32、44.1、48 kHz/
AAC	16～320 kbps
AIFF	32、44.1、48、88.2、96、176.4、
FLAC	192 kHz/ 16、24 bit
DSD	2.8 MHz

## USB-B

USB オーディオ仕様 :	
再生フォーマット :	USB 2.0 High-speed
USB Audio Class 2.0、Asynchronous mode	
LPCM	32、44.1、48、88.2、96、176.4、 192 kHz/ 16、24 bit
DSD	2.8 MHz

DSD コントロールモード :	
ASIO Native mode、DoP mode	

## お知らせ

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 本機は、温帯気候での使用を意図して設計されています。

※1 USB 端子に何も接続されていない状態で電源を切っている場合

※2 MPEG-1 Layer 3、MPEG-2 Layer 3

※3 温度 25 ℃、高さ 1 m、「MODE1」(通信の安定性を重視したモード) の条件で測定

# 著作権など

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

Mac および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

macOS は、Apple Inc. の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

パナソニックは日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にハイレゾロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

DSD はソニー株式会社の登録商標です。

## FLAC Decoder

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

- まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 ( ) -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」(⇒ 26)、「故障かな!?」(⇒ 28)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

●製品名 CD ステレオシステム

●品番 SC-PMX90

●故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間  8 年

当社は、この CD ステレオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙の DIGA (ディーガ)・オーディオご相談窓口、修理ご相談窓口にご相談ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

# さくいん

## 英・数字

AM ループアンテナ	6、9
AUDIO IN	18
AUX	19
BASS	21
Bluetooth®	11
CD	13、25
D.BASS	21
FM 簡易型アンテナ	6、9
OPT	18
PC	20
SURROUND	21
TREBLE	21
USB	13、25
1曲再生	14

## あ行

アルバム再生	14
オートオフ	24
オートチューニング	17
オートプリセットメモリー	16
屋外アンテナ	17
おめざめタイマー	22
おやすみタイマー	22
音質・音場	21

## か行

聞く

CD	13
USB	13
外部機器	18
ラジオ	16
工場出荷設定	28

## さ行

サーチ	12、13
再生モード	14
サラウンド	21
消音	11
スキップ	12、13
スピーカー	8
選局モード	17

## た行

タイマー

おめざめ	22
おやすみ	22
ディマー	10
デジタル音声入力	20
時計	22

## は行

表示部	10
プリセット EQ (イコライザー)	21
プリセットチューニング	16
プログラムプレイ	15
ヘッドホン	24

## ま行

マニュアルチューニング	16
マニュアルメモリー	17
モノラル受信	17

## ら行

ラジオ	16
ランダム再生	14
リピート再生	15
リモコン	6、10
リモコンモード	23

必要なとき

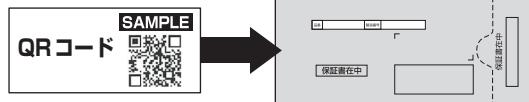
# 「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実

詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書用封筒に記載されているQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます



## サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



### DIGA (ディーガ)・オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口



0120-878-982

パナは キュウハチニ

受付時間  
9:00~18:00 月~土曜日  
(祝日・正月三が日を除く)

- 上記電話番号をご利用  
いただけない場合 06-6907-1187
- FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan  
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787  
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



### 修理に関するご相談窓口



0120-878-554

パナは イイヨ

- 上記電話番号をご利用  
いただけない場合 03-6633-6700

<https://panasonic.jp/support/repair.html>



掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。

(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

## 愛情点検

### 長年ご使用のCDステレオシステムの点検を!



こんな症状は  
ありませんか

- 煙が出たり、異常においや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用  
中止

故障や事故防止のため、  
電源を切り、コンセントから  
電源プラグを抜いて、  
必ず販売店に点検をご相  
談ください。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2019-2024

TQBM0361-3  
F0319MH3024